

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名		ヘルスバイオニアタウン事業（各種がん検診料金助成金）				
区分	番号	名 称						
章	1	やさしさと共生するまち						
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる						
施策	2	保健予防活動の充実						
小分類	1	成人及び老人保健の充実						
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上						
事務事業番号	006	事務事業コード	12211006	事業開始年度	平成 1 3 年度	事業終了年度	平成 - 年度	
会計種別	国民健康保険特別会計		予算書上の事務事業名					各種がん検診助成経費
部 名	保健福祉部		グループ名	国民健康保険 G				
統合前または名称変更前の事業名								

事務事業の目的と成果	
目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） がんの早期発見、早期治療を目指す。
手段（事業の内容・活動）	被保険者に対し、各種がん検診等の自己負担分を助成する。 助成額 ・ 肝炎検査：1,100円 ・ 胃がん検診：2,900円 ・ 子宮頸部がん検診：1,700円 ・ 乳がん検診：2,200円と1,900円（50歳以上） ・ 肺がん検診（X線）：600円 ・ 肺がん検診（喀痰）：600円 ・ 大腸がん検診：1,100円 ・ 前立腺がん検診：1,100円 ・ 女性（39歳以下）の健康診査：1,500円
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） ・ がんを早期に発見することで、医療費の削減を図る。 ・ 早期に治療することで、がん治療後の生存率を高め、QOLの向上を図る。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）

指標の推移							
区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
成果指標	がんに係る1人当り医療費を全道平均以下にする（H23年5月レプト分析：上段が道・下段が当市） 疾病分類20分類の新生物より	目標値	3,318	4,689	4,689	4,689	4,689
		実績値	4,175				
		目標値					
		実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称 国民健康保険税	千円	6,260	8,336	4,905	4,905	4,905	14,715
	一般財源 名称	千円						0
合 計			6,260	8,336	4,905	4,905	4,905	14,715
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	332	341			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	96	98			
		合 計		428	439			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ がん検診については、なるべく多くの人に受診してもらうことで、がんを早期に発見することが可能である。 したがって、受診しやすい環境づくりが重要なため、市が検診料金を助成することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ がん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につながるため、成果はある。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ ・健康通信きらりて周知を図る。 ・特定健康診査と同時実施できるなどのメリットを説明したリーフレットを、広報折込で全戸配布し、周知の徹底を図っていく。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ これ以上経費を削減することは、受診者の自己負担額をあげることになり、受診率の低下につながるため、削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	がんの早期発見・早期治療につながる事業であるため、維持としていく。
-----------	----------------------	-----------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）